

8-1-2 道路会社業務検討WG (NEXCO)

1. 道路会社業務検討WGの概要

(1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化、具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

(2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員と支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

2. 主な活動の記録

過去の意見交換会やアンケート調査から抽出した施工管理、大規模更新・修繕、設計、積算などの課題に取り組んだ。

(1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

a) 施工管理

若手技術者を対象とした技術補助員が創設された。令和2年度までの見通しが出された。平成31年1月に施工管理に関する説明会が開催された。

b) 積算

平成30年7月にスマートインターチェンジの設計歩掛が新規制定された。(3社共通)

c) 耐震補強設計

平成8年道路橋示方書を満たさない橋梁の耐震補強が大量に発注され、当面継続する見通しである。(3社共通)平成31年2月に耐震補強設計の説明会が開催された。

d) 入札

プロポーザル方式の積極採用により、プロポーザル方式の発注が増加している。

e) 設計変更ガイドライン

平成30年7月に設計変更ガイドラインが改訂(3社共通)され、8月に説明会が開催された。同日、設計変更ガイドラインの印刷小冊子が配布された。

(2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

a) 入札

プロポーザル方式の積極的な採用について継続要望した。

b) 設計変更ガイドライン

平成30年7月に改訂された。(3社共通)設計業務初回打合せ時に提示を義務付け、打合せ簿に記載する取り組みが開始された。

c) 施工管理

管理員資格の緩和など改善がなされ、11月に説明会が開催された。令和3年度までの発注見通しが公表されている。

d) 発注見通しの公表

平成30年10月から従来5,000万円以上だった公募型入札方式の公表が250万円以上に拡大された。

(e) 優良業務の表彰

優良業務の表彰について要望した。(3社共通)実際に表彰事案が出ている。

(3) 西日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 入札

耐震補強設計で総合技術監理型の大型プロポーザル方式が導入された。

b) 設計変更ガイドライン

平成30年7月に改訂された。(3社共通)

c) 施工管理

関西および中国支社において令和2年度までの施工管理の見通しが公表された。

3. 次年度の活動について

次年度は、働き方改革の実現への対応、プロポーザル方式の積極的採用、総合評価における低入札対策、表彰制度の活用、要員が不足してきた施工管理制度の改善検討、積算、設計変更ガイドラインの継続的な見直しなどを目標に実務者検討会を実施する。なお、積算歩掛に関しては技術部会と協力して次年度からネクスコ3社および総研と議論をする場を設けた。

(道路会社業務検討WG (NEXCO) WG長

鈴木 卓)